

HONJO

2018

本庄市職員 募集案内



The Beginning
of a New Age

HONJO

市長からのメッセージ



こんにちは！本庄市長の吉田信解です。

本庄市では、今年の4月から新しい総合振興計画がスタートし、市の将来像「あなたと活かす みんなで育む 歴史と教育のまち本庄～世のため、後のため～」の実現を目指すこととなりました。本庄市は個性のある長い歴史と優れた教育環境を有しているため、このような特徴を未来においても活かそうという、本庄市のオリジナリティが反映された将来像となっています。

私は毎年、年頭の挨拶で職員に対して、1年間心にとめて仕事をしてほしい言葉を示していますが、今年は新しい時代に向けて動き出した本庄市政に鑑みて「磨く」という言葉を掲げました。計画は作ることが目的ではありません。計画として掲げた理想を意志と行動によって磨き、実現することに意味があるのです。

同様に、人の志も磨き続けることが大切です。本庄市政をより一層磨くため、それを推進する市職員にも、自らの志を磨いてもらいたいと考えています。

最後に、このメッセージを読んでいる皆さんには、明日の本庄市をつくるうえでの夢や理想を掲げ、本庄市職員を志望してほしいと思います。そして、その志を市職員となっても磨き続けてください。本庄市は、そんな高い志と熱意を持った皆さんを心よりお待ちしております。

本庄市長 吉田信解



本庄市はこんなところ

- 人口：78,508人
- 世帯数：33,983世帯
- 面積：89.69km²
- 職員数：543人
- 主要な交通網

鉄道

JR上越新幹線 本庄早稲田駅

JR高崎線 本庄駅

JR八高線 児玉駅

道路

関越自動車道 本庄児玉IC

国道17号、254号、462号

(平成30年6月1日現在)

⑤競進社模範蚕室



④堀保己一記念館



⑨骨波田の藤



⑪あじさいの小路



⑫間瀬湖



②児玉総合支所
(アスパアこだま)



本庄市の求める職員像

自らの能力の向上に努め、

職務を的確に遂行する

市民の視点に立ち、
協働によるまちづくり

を推進できる

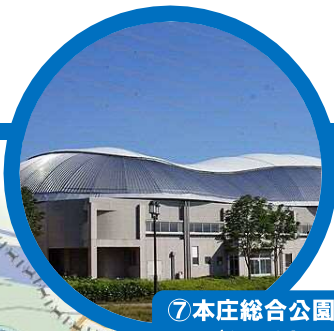
求める
職員像

経営感覚と
コスト意識

を持ち、的確な判断や行動ができる

社会状況の変化に迅速に対応し、
新たな課題にも

果敢に取り組む



⑦ 本庄総合公園体育館
(シルクドーム)



① 本庄市役所



③ 旧本庄商業銀行煉瓦倉庫



⑧ マリーゴールドの丘公園



⑥ 市民活動交流センター
(はにぼんプラザ)



⑩ こだま千本桜

本庄市は東京から80km圏、埼玉県の西北に位置します。地形は概ね平坦で安定した地盤を有していますが、南西部は500m級の山々が連なる山林地となっています。自然災害が少ないのが特徴で、気候は夏に雨量が多く、冬に少ない東日本型気候であり、水と緑豊かな自然環境に恵まれたところです。

本庄市の取り組みについて

人口減少への対応

急速に進む人口減少問題を克服していくことが課題となっており、出会いの場の提供や出産・子育て支援、市民一人ひとりがいきいきと生活し健康長寿につながる施策に取り組むことで、出生率の増加を図っています。

【子ども・子育て支援】

安心して生み育てることができるまちを目指し、子どもが輝く未来のため、本庄版ネウボラプランを推進していきます。

平成30年度には子育て世代包括支援センター事業を開始し、妊娠・出産・子育て期に渡り、切れ目なく子育てをサポートしていきます。

延長保育、一時預かり事業、病児保育事業、ファミリーサポートセンター事業等を委託等により実施し、様々な保育ニーズに対応しています。

また、乳幼児健診後の発達に課題のあるお子さんへのフォロー教室の実施、保護者の仲間づくりを通じて育児不安の軽減などを目的とした育児学級の実施、子どもと保護者が安心して健やかな生活ができるよう相談事業等を行っています。

【健康づくりの推進】

市民の健康づくり推進拠点施設として、休日急患診療所及び健診・検査エリアを併設した、新しい保健センターが平成29年に移転オープンしました。

平成27年度から実施している「健康づくりチャレンジポイント事業」(はにぼんチャレンジ)では、対象事業の拡充や自宅で行う健康づくり活動にもポイントを付与して参加しやすくするなど、毎年度内容を見直し、市民の健康に対する意識改革に努め健康長寿の実現を目指しています。



地域経済の活性化

農業、商工業などの産業の振興、世界文化遺産をはじめとした観光の振興、企業誘致とともに就業の選択や所得の拡大などに取り組み、定住・交流人口の増進を図ることで、本庄市の新たな魅力の向上に努めています。

【企業誘致・勤労者対策】

工場の新・増設や設備投資による新規立地、施設拡充に企業誘致条例に基づく奨励金制度を設け、地域産業の更なる振興に努めています。企業立地を促進し、新たな雇用の創出や就業の機会、選択の拡大など、環境の充実を図っています。



【観光振興・市のPR】

「本庄まつり」をはじめ、「こだま秋まつり」、「本庄祇園まつり」、「こだま夏まつり」など、伝統ある郷土芸能や祭りの継承などの観光資源を活かした取り組みを行っています。また、豊かな水と大地に恵まれており、花の名所が多いことでも知られ、春は艶やかな桜、夏にはあじさい、秋にはマリーゴールドが咲き誇り、「こだま千本桜まつり」などのイベントを開催し、観光誘客を推進しています。さらに、平成30年3月に策定した「本庄市観光振興計画」をもとに、市の知名度アップと交流人口の増加を目指します。

その他にも、「ゆるキャラ®グランプリ2016」にて、第2位となったマスコットキャラクター「はにぼん」が、市の内外において積極的に本庄市をPRしています。

地域の特性を活かしたまちづくり

駅周辺拠点における居住や交流環境等の魅力を一層高めることにより、定住の促進、店舗等の開業・起業、地域のつながりの強化、市民参加型の地域活動を推進し、コンパクトで賑わいのある安全・安心なまちなかを目指しています。

【まちづくり】

本庄市では、人口減少・高齢化に対応した「集約型都市構造」の構築による「持続可能な都市」を目指し、本庄駅、児玉駅、本庄早稲田駅の3つの駅周辺の都市機能の充実を目指した「まちづくり」を進めています。

本庄駅、児玉駅周辺では「まちなか再生」を、本庄早稲田駅周辺では「新しい魅力と活力あるまちの創造」を目指すとともに、多様なライフスタイルが選択できる「まちづくり」を推進していきます。



【危機管理意識の向上】

近年繰り返される自然災害に対しては、「備え」が必要です。災害時に迅速な対応が取れるように、防災訓練の実施や防災行政無線の維持管理を行っています。

防犯の面では、市内全域の防犯灯のLED化を進め、夜間における犯罪の防止を図るとともに、省エネも推進しています。





福地 綾太 主事

市民生活部
危機管理課
安全安心係

平成22年度採用
一般事務

経歴
H22.4 下水道課
H29.4 現所属

市民の防犯意識を高め 安全安心のまちづくりを推進する

Q 私の所属はこんなところ

A 危機管理課は、防災・防犯・交通安全などの業務を行っている部署です。私が所属している安全安心係では、防犯ボランティア団体の運営やカーブミラー・道路照明灯などの交通安全施設の設置・管理、交通指導員の運営や交通安全教室の開催など、地域に密着した業務であることが特徴です。安全安心のまちづくりのため、警察や消防など、様々な機関と連携しながら日々の業務に取り組んでいます。

Q 印象に残っていること

A 私は現在、防犯パトロールや児童の見守り活動などで使う物品の配布を行ったり、市民に対する研修を開催するなど、市民の防犯意識の向上につながる活動の支援業務を担当しています。

本庄市の犯罪の発生件数は減少傾向にあることから、学校関係者や市民の方から「危険箇所が減った」「研修が役に立った」などの感謝の言葉をいただくことも多く、市民の安全や安心のためには、行政の力が必要であると実感したことが非常に印象に残っています。また、そのような業務に携われていることにやりがいを感じています。

Q 受験生のみなさんへ

A 市役所の業務は多岐にわたります。各部署によって業務内容は様々ですが、職員が知識や経験を持ち寄り、「本庄市のため」「本庄市民のため」という強い気持ちで、より良い行政サービスを目指して働いている明るく活気のある職場です。

今度は皆さんが本庄市職員となって、これまでに受けてきた行政サービスを市民の方々へ返していく番です。ぜひ本庄市役所で一緒に働きましょう！

地域での自立した生活を支援する 市民に身近な介護業務の窓口

Q 私の所属はこんなところ

A 介護保険課では、介護保険サービスを受けるために必要な申請や介護認定に関する業務のほか、要介護(支援)状態になることを予防し、地域で自立した生活を営むことができるよう様々な支援業務を行っています。

私は介護業務係に所属しており、窓口業務や住宅の改修費・福祉用具の購入費といった保険給付を主に担当しています。身体等の機能低下により日常生活に支障が生じた場合でも、住み慣れた自宅で自立した生活が送れるよう、必要な支援につながる対応を心掛けています。

Q 印象に残っていること

A 窓口業務を中心とした部署に所属していることから、市民の方の疑問や相談を伺う機会が多くあります。その中で印象に残っているのが、「とりあえず市役所に聞きに来た」という言葉です。市役所の業務は市民の生活に直結しているため、市民の方にとっては、市役所が一番身近な窓口であり、最初に頼る場所であるということを感じました。市民の方からの期待に対し、市職員としてどのように応えていくのかを考えるきっかけとなりました。

Q 受験生のみなさんへ

A 市役所の業務は、幅広く多岐にわたりますが、必ずどこかで市民の生活につながっています。大変なことも多いですが、その分やりがいのある仕事です。市民のより良い生活につながる仕事がしたい、本庄市をもっと暮らしやすいまちにしたいと考えている皆さんと、一緒に仕事ができる日を楽しみにしています。



新井 靖子 主任

保健部
介護保険課
介護業務係

平成23年度採用
一般事務

経歴
H23.4 保険課
H27.4 介護いきがい課
H28.4 現所属

市民の立場に立った丁寧な対応で 子育て世帯を支援する

Q 私の所属はこんなところ

A 子育て支援課では、児童を預ける保育園や学童に関すること、児童の育成相談や虐待防止、子育て世帯への手当や医療費の助成など幅広い業務を行っています。その中で私は、児童手当やひとり親家庭等医療費助成制度、未熟児養育医療制度などといった、子育て世帯への経済的援助に関する業務に携わっています。生活に直接影響する内容であるため、まず第一に市民の方の立場に立ち、可能な限り要望に応えられるよう日々業務に取り組んでいます。

Q 印象に残っていること

A 子育て支援課に配属され印象的だったことは、不安な様子で窓口に来られる方が予想以上に多いということです。特に初めてのお子さんの場合には、多くの方がこれから始まる子育てへの不安を抱えています。そのような不安を少しでも和らげることができるように、窓口では単調に子育て支援制度の説明をするのではなく、一人ひとりの反応をうかがいながら説明方法を変えるなどの工夫や、不明な点がないかの確認を心がけています。帰り際に「丁寧にありがとう」「わかりやすかったよ」などと感謝の気持ちを伝えてくださる方がいることも、より一層丁寧な業務に励むきっかけになっています。

Q 受験生のみなさんへ

A 市役所の仕事は多岐にわたるため、中には市民の方と接する機会がほとんどない仕事もあります。しかし、分野に関わらず共通して言えることは、どんな仕事でも熱意を持って取り組めば、必ず市民の方に良い結果として反映されることだと思います。皆さんと、本庄市をより良いまちにするため、切磋琢磨できる日を楽しみにしています。

山田 泰樹 主事

福祉部
子育て支援課
給付係

平成26年度採用
一般事務

経歴
H26.4 現所属

子どもたち一人ひとりと向き合い 成長を身近で支援する

Q 私の所属はこんなところ

A 現在、私は保育士として、2歳児のクラスを担当しています。絵本の読み聞かせやピアノを使った歌の伴奏、一緒に体を動かして遊んだり、基本的な仕事は子どもたちの日々の保育ですが、製作や行事の準備なども大切な仕事です。

子どもたちは一人ひとり違うため、どう向き合うかが時に難しく感じることもありますが、年齢に合った発達目標を立て、試行錯誤しながら日々の保育にあたり、信頼関係を築いています。

Q 印象に残っていること

A 子どもたちの、できなかったことができるようになった瞬間や、友達や保育士との関わりの中で、子どもたちの心の成長を感じた時のことは印象に残っています。このように、子どもたちの成長を身近で感じられることが、保育士の仕事のやりがいでもあり、面白さでもあります。

子どもたちは日々成長しているため、一緒に過ごす日々は毎日新鮮です。時には、子どもたちから教えてもらうこともあり、様々な発見のある素敵な仕事だと感じています。

Q 受験生のみなさんへ

A 本庄市では、子ども・子育て支援の取り組みに力を入れています。保護者の方の働き方も多様化しているため、長時間保育の受入れを行うなど、様々な状況に対応できるように支援策も変化しています。

保育士は子どもたちと一緒に成長できる素敵な仕事です。自分がどんな保育士になりたいかをイメージして頑張ってください。一緒に保育の現場に立てることを楽しみにしています。

横沢 優華 保育士

福祉部
子育て支援課
久美塚保育所

平成26年度採用
保育士

経歴
H26.4 現所属

市の財源の確保に取り組む 行政運営を支える重要な役割

Q 私の所属はこんなところ

A 私が所属する収納課管理係では、主に市税の収納管理を行っています。市税は市が多岐にわたる事業を行うための重要な財源であり、快適で住みやすいまちづくりを進めるためには、なくてはならないものです。この市税を確保するために、口座振替やコンビニ収納などの様々な取り組みを行い、納税を推進しています。

市街地の開発とは異なり、実際に形として残る仕事ではありませんが、我々の取り組みが市の行政運営を支えているという自負を持ち、日々の業務にあたっています。

Q 印象に残っていること

A 私が入庁後4年間所属した行政管理課職員係では、主に職員研修や非常勤職員の勤怠管理などの業務に従事していました。その中で、地元の大学や近隣町と連携して地域の魅力発掘を目的とした職員研修の計画運営を行いました。市役所の仕事は、市民だけではなく、職員や民間、教育関係機関などの様々な人と協力して行っていくものです。多くの人と出会い、多様な価値観に触れることで、自身の人間性を豊かにすることができるのも市役所の仕事の魅力の一つだと感じています。

Q 受験生のみなさんへ

A 本庄市は近年、多くの若い職員が入庁し、非常に活気に溢れています。どの職員も意欲的であり、市の発展のため、自主的に勉強会等を開催し、熱い議論を交わす職員もいます。皆さんもただ単に職員となることだけを目標とせず、入庁後も本庄市の発展にどのように携わっていきたいかを考え、熱意を持ち続けてください。熱意ある皆さんを本庄市は必要としています！

中川 裕貴 主事

総務部
収納課
管理係

平成25年度採用
一般事務

経歴
H25.4 行政管理課
H29.4 現所属

幅広い世代の安心と快適な暮らしのため 建築職として、まちをデザインする

Q 私の所属はこんなところ

A 私が所属する都市計画課市街地整備係は、駅周辺の施設管理とまちづくりの計画作成を行っています。特に、現在行っている駅周辺のまちづくりは、ただ単に建物を建築するだけではなく、その周辺地域も一体的に活性化できるような計画が求められています。

幅広い世代が安心・快適に暮らし、回遊や滞在の楽しさを感じることができるまちにするため、私は建築職として、まちの玄関口に相応しい、本庄市の特徴を取り入れた空間デザインとなるよう日々検討しながら業務にあたっています。

Q 印象に残っていること

A 私は入庁して5年間、営繕住宅課に所属し、市有建物の新築・改修・修繕工事の設計や監理を行いました。入庁した年には、本庄駅の近くにある複合施設「はにぼんプラザ」の工事が始まり、副担当として携わることになりましたが、工事を進めていくうえでは、覚えなければならない知識や業者との協議・調整が多く、大変不安でした。しかし、経験豊富な上司や先輩に相談しながら工事を進め、無事に完成して引渡し完了したときは、非常に感動し、その後のやる気と自信にもつながりました。

Q 受験生のみなさんへ

A 市役所の仕事は、市民の声が近く、自分の仕事が市民の生活に直結しているのが特徴だと感じています。特に建築職は、自分の携わった仕事の本庄市の財産として形に残るので、工事や業務の一つひとつに緊張感が伴いますが、市民の方が利用している姿を見たり、喜んでいる声を聞いたりすると非常にやりがいを感じます。

本庄市を全国に誇れる魅力的なまちにすることを目指して、皆さんと一緒に働けることを楽しみにしています。

今井 千波 技師

都市整備部
都市計画課
市街地整備係

平成25年度採用
技術職（建築）

経歴
H25.4 営繕住宅課
H30.4 現所属



2 年目職員座談会

平成 29 年度に入庁した職員の中から様々な分野で活躍している 4 人に集まっていただき、本庄市職員として勤務した 1 年間を振り返ってもらいました。

■佐藤 彩美

＜主事補＞（一般事務）

教育委員会
文化財保護課
文化財保護係

■宮原 又三郎

＜主事補＞（一般事務）

上下水道部
水道課
浄水場係

■本田 みな子

＜主事補＞（一般事務）

経済環境部
環境推進課
エコタウン推進係

■大塚 悠真

＜主事＞（一般事務）

保健部
保険課
高齢者医療係

一 はじめに、皆さんが本庄市を志望した理由を教えてください。

大塚 採用面接の受け答えみたいですが、私は本庄市の出身なので、地元でお世話になった人たちに恩を返したいというのが理由でしたね。私は当初、民間企業に絞って就職活動をしていたのですが、誰のために働くのかという点も重要なポイントだと気づいて、それなら地元の人たちのために働きたいと思って本庄市を志望しました。もちろん、転勤がなく、住み慣れたまちで暮らしていけることも大きな理由でした。

佐藤 出身に関してなら、私の地元は群馬県の安中市なので、本庄市とのつながりは全くありませんでした。ただ、公務員を目指して専門学校に通っていたので、本庄市の 2 次募集が他の市町村とは違う時期に実施されるのを見つけて、採用されたらそれも縁だと思って受験しました。それでも当時は、本庄市のホームページから市の取り組みを調べたり、実際に訪問したりと、受験をするにあたっては真剣でしたね。

本田 私は受験前には既に子どもがいたので、子育てのことも考えて就職先を探していました。子どもが生まれる以前は民間企業に勤めていましたが、当時の職場のような環境では仕事と育児の両立は難しいと思って、両立ができそうな就職先を探す中で公務員を目指すことに決めました。それと、子どもの手続の関係で本庄市役所に何度か足を運ぶ機会があって、実際に働く職員の姿を見たことも、ここで働きたいと思ったきっかけの一つとなりました。

宮原 私も同じく前職の経験があるのですが、週の休みが 1 日だったので、比較的仕事とプライベートの両立ができそうな公務員には当時から魅力を感じていました。市役所でも部署によっては、休日出勤が必要なところもありますが、それでも基本は週に 2 日間休みがあるのは魅力的ですね。

一 職場の雰囲気や業務内容について、入庁後に感じたギャップがあれば教えてください。

佐藤 上司に気軽に相談できアドバイスももらえるので、職場環境には恵まれていると思います。特に去年は、所属する部署に年齢の近い先輩が 1 人もいなかったもので、初めは驚きましたが、上司が丁寧に仕事を教えてくれたので、環境に悩むことはありませんでした。

大塚 窓口業務を担当していますが、私も先輩に質問をしやすい環境だったので、先輩を頼りに業務を覚えていきました。ただ、4 月には窓口に出て市民の方の対応を任されていたので、予想以上に早いとは感じましたね。前職の経験もなかったので、相当な緊張感でした。

宮原 私も 1 年目にしては、予想よりも責任の大きい仕事を任せてもらえたと感じています。前職では段階を踏んで仕事を覚えていったので、少し驚いた部分はありましたね。また、自分のイメージしていた公務員の仕事は内部事務だったので、現場業務が主な今の部署に対して、当初はギャップを感じました。

本田 所属する環境推進課が担当している、ごみや空き家の管理などは、思っていた以上に市民生活と結びついている業務でした。今まで気づかなかったけど、実は市役所の職員によって支えられていることに気づかされました。また、職場環境についてですが、市役所には育児をしながら働いている職員が大勢いるので、育児に対する職場の理解もあり、子どもが風邪を引いた時なども休みを取りやすい環境だと思います。

ー 1年間を振り返り、大変だったことや達成感を感 じたことはありますか？

本田 太陽光発電に関する業務を担当しているのですが、専門的な知識が必要なので当初は苦労しましたね。ただ、上司が研修に積極的に参加させてくれたので、現場と勉強を交互に行う中で、知識や対応方法がいつの間にか定着していたような感覚です。それと、やはり仕事と子育ての両立は大変でした。慣れない仕事で疲れて帰っても、育児がありますからね。その環境にもだいぶ慣れましたけど、仕事と子育ての両立の厳しさを知った1年でもありました。

宮原 私の部署も、機械関係など専門的な分野を扱うことが多い部署なので、分からない単語も多く、初めは逐一メモを取って後で調べたり、先輩の業務を観察するなどして、1年間の中で実務を習得していきました。特に印象に残っているのは、清掃業務の委託契約をした時のことです。入庁前の1年間は、ひたすら公務員試験の勉強をしていたので、目指していた職業に就いて働いている実感を達成感とともに感じました。

大塚 私もメモの取り方は工夫しましたね。上司や先輩も忙しい中、時間を割いて教えてくれるわけですし、同じ質問は2度しないように気をつけました。ただ、窓口での市民の方への対応には苦労しましたね。上手く伝わるように説明の仕方を工夫したりと試行錯誤しているのですが、理解につながらないこともあります。それでも、1年前に比べれば、1人でできる業務も増えましたし、少しずつ成長してるのだと思います。

佐藤 私は補助金等の申請業務を担当しているのですが、申請書には記入例のないものがあることも多く、そのため当初は正確な案内ができず、後から不備が発覚するということが何度もありました。それでは申請者の方にも迷惑がかかりますし、担当者が変われば同じミスが繰り返されるので、全ての申請書に記入例を作ることにしました。そのおかげでミスもなくなり、自発的に行動できたことで自信にもつながりました。

ー 最後に今後の目標について教えてください。

宮原 今後は機械関係など、技術職が対応するような、より専門的な分野の知識も身につけていきたいです。そのため、今はまだ将来的にやりたい業務のことよりも、水道課で任されることを増やしたいという気持ちの方が強いですね。後輩や異動してくる職員にも頼りにされる存在になれるよう、日々の業務を積み重ねていきたいと思っています。

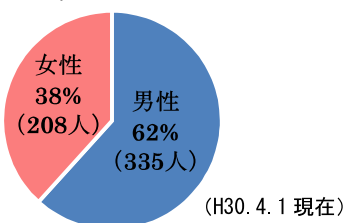
本田 市役所では人事異動により、今の仕事とは全く異なる部署に配属されることも多々ありますが、先輩職員も全員乗り越えていることなので、私もそれぞれの業務に対応できる職員を目指したいです。また、子育てについても、仕事と両立している先輩職員の姿を日々見ているので、私もいずれは後輩の目標になれるよう、仕事も育児も頑張りたいと思います。

佐藤 私は県外出身なので、本庄市の知らない場所がまだまだあります。本庄市を知ると同時に、業務においても役立つはずなので、休日に本庄市の文化財を回り、写真に記録することを現在計画しています。文化財には標柱が立っているのですが、その老朽化の具合は把握されていないので、改修に備え、それを記録して課内で共有することが目標です。

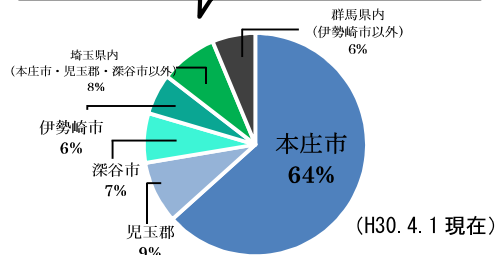
大塚 保険の制度は複雑なので、分かりやすく、噛み砕いて説明できるようになるのが当面の目標です。そのためにも、制度については表面の知識だけでなく、体系立てて深く理解することを意識していきたいです。また、市役所で1年間働きましたが、自分の部署以外の仕事については、ほとんど知らないのが現状です。特に、行政運営上の計画を策定するような、窓口業務以外の部署の仕事にも興味があるので、いずれは幅広く、市の業務に携われたらと思います。

Q & A

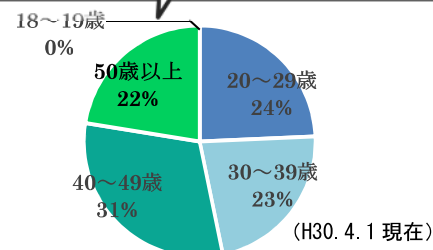
Q 本庄市職員の男女比を教えてください。



Q 本庄市職員の住まいは、どこが多いですか？



Q 本庄市職員の年齢構成比を教えてください。



Q 受験にあたり、出身地や出身校、性別による有利・不利はありますか？

A 出身地や出身校、性別などによって有利・不利になることはありません。本庄市外出身の方の受験もお待ちしています。

Q 第2回以降の採用試験はありますか？

A 第1回採用試験の採用人数によって判断しますので、当該パンフレットの発行時点では決まっています。

Q 男女別・高校卒の合格人数や割合はあらかじめ決められていますか？

A 決められていません。採用試験で受験者を選考し、採用にふさわしい人物である場合には採用しています。

Q 人事異動はどのように行われていますか？

A 定期的な人事異動は、原則として4月1日に行われ、異動のサイクルは概ね3～4年となっています。また、異動する部署については、年1回行われる異動希望調査での職員の意向も尊重し、適材適所に配属されます。

Q 本庄市の勤務時間・休暇制度について教えてください。

A 勤務時間は原則として午前8時30分から午後5時15分までです。また、週休2日制で土・日は休みです。ただし、図書館など、勤務時間や休日が変則的な職場もあります。

年次有給休暇は1年に20日（新採用職員の場合は15日）で、残日数のうち20日を限度として翌年への繰越しができます。また、1時間ごとの取得も可能です。このほか、夏季休暇や介護休暇などがあります。

職員に対する各種制度

◆子育て支援制度

すべての職員が子育てのために利用できる休暇制度について理解し、制度を利用しやすい職場環境を作るため、ガイドブックを作成・周知することで、育児休業や部分休業などの各種休暇の取得を推進しています。

・子育て支援関係休暇一覧

休 暇 名	目 的
健康診査等休暇(女性のみ)	保健指導や健康診査を受けるため
妊娠障害休暇(女性のみ)	つわり等で勤務することが困難なため
通勤緩和休暇(女性のみ)	通勤混雑による母体及び胎児の健康保持のため
産前休暇(女性のみ)	母体及び胎児保護を目的に出産予定日から前6週間
産後休暇(女性のみ)	母体の回復及び新生児保護を目的に出産後8週間
育児参加休暇(男性のみ)	男性職員が子を養育するため
出産補助休暇(男性のみ)	配偶者の入退院の付き添いや出産の立会いのため
育児時間休暇	授乳や保育園等の送迎のため
育児休業	子(3歳まで)の養育のため
部分休業	託児の状況に合わせた子の養育のため
子の看護休暇	子の疾病等の看護のため

◆福利厚生制度

埼玉県市町村職員共済組合

- ・健康保険事業…組合員とその被扶養者の公務外の病気、負傷、出産、死亡などに対して必要な給付を行っています。
- ・年金事業…組合員が退職や病気になったとき、また不幸にして死亡したときに、年金などの給付を行い、老後の生活や残された家族の生活を保障します。
- ・福祉事業…健康保持を目的として、がん検診やインフルエンザ予防接種の助成、福祉施設等の利用補助を行っています。

公務災害補償

地方公務員災害補償制度は、地方公務員が、公務上の災害（負傷、疾病、障害又は死亡）又は通勤による災害を受けた場合に、その災害によって生じた損害を補償するものです。

職員定期健康診断

本庄市では、職員の健康を管理するため、年1回の健康診断（血圧、視力、聴力、胸部X線、血液検査、検尿、心電図等）を行っています。

過去の試験の実施状況

平成28年度				
職種	区分	受験者数	最終合格者数	倍率
一般事務	大学卒	229	16	14.3
	短大卒	21	4	5.3
	高校卒	25	2	12.5
保健師		2	2	1.0

平成29年度				
職種	区分	受験者数	最終合格者数	倍率
一般事務	大学卒	37	13	2.8
	短大卒	1	0	—
	高校卒	0	0	—
	身体障害者対象	1	1	1
一般事務 (社会人経験者枠)	大学卒	37	7	5.3
	短大卒	2	0	—
	高校卒	4	1	4.0
技術職(土木)	大学卒	6	1	6.0
	短大卒	1	0	—
	高校卒	0	0	—
技術職(建築)	大学卒	5	1	5.0
	短大卒	0	0	—
	高校卒	1	0	—
技術職(電気)	大学卒	6	1	6.0
	短大卒	0	0	—
	高校卒	0	0	—
保健師		8	2	4.0
管理栄養士		11	2	5.5
保育士		27	4	6.8

今年の試験スケジュール

- 【受験案内配付期間】 平成30年6月29日（金）～8月11日（祝）
- 【受付期間】 平成30年8月9日（木）～8月11日（祝）
午前9時～午後5時（ただし、11日は正午まで）
- 【第1次試験日】 平成30年9月16日（日）
- 【第2次試験日】 平成30年10月中旬予定
- 【第3次試験日】 平成30年11月下旬予定

※詳細は、別紙「平成30年度本庄市職員採用試験受験案内」をご覧ください。

問合せ先



本庄市役所 総務部 行政管理課 職員係
〒367-8501 本庄市本庄 3-5-3 TEL0495-25-1160
URL <http://www.city.honjo.lg.jp/>



本庄市で
一緒に働こう!!